

提出日：西暦 2014 年 4 月 17 日

社外研修報告書

弁護士法人 名古屋総合法律事務所

報告者：平野 秀繁

研修 テー マ	プロに学ぶ演劇講座
主催 者	日本演出者協会東海ブロック
受講 場所	原ターミナルビル4階 天白文化小劇場
受講 期間	2014/4/16(水)19:00 ～ 21:00
研修 内容	名前を当てるゲーム、ジェスチャーをするゲーム、意味をなさない言葉を使用して、小芝居をするゲーム、アイウエオ順に会話をしながらお芝居をすること等
研修 の成 果及 び感 想	名前を当てるゲームは、全員の前で人の名前を当てていくゲームである。初対面に近い集団の中で全員の名前を把握することは、人とのコミュニケーションを図る前提として重要な要素を占めていることを再認識した。また、人から注目される中で、記憶を喚起しながら、人の名前を当てていく作業は、舞台度胸もつくとのことであった。確かに、思い起こすと、人前で緊張すると、記憶が飛ぶという体験をすることがあるが、あえてうっすらとしか記憶のないことについて、人前で発表することで、緊張状態を作出することは、その対処法を発見するための良い方法だと思った。 意味をなさない言葉を使用して、小芝居をするゲームを行った。会話をジェスチャーだけで成立させるためには、態度により相手に自らの意思を伝える必要があるが、普段、言語に頼っている我々には困難な部分も多い。ゲームを行った後、お互いのジェスチャーについて感想を言い合うことで、自分の態度が相手からどう見えるかを伝えてもらうのであるが、実際、私のグループでは、伝えたいことの半分程度しか伝わらなかった。人から自らの態度がどう見えるかを考えさせられる良い機会となった。
受講 者	平野秀繁